



EHIME HOSPITAL NEWS

愛媛病院ニュース

2012

第26号

1月1日発行

題字: 故阿久津弘名誉院長

発行者: 愛媛県東温市横河原366 国立病院機構愛媛病院 発行責任者: 院長 岩田猛 <http://www.ehime-nh.go.jp>



謹んで新年の
御慶びを申し上げます

二〇一二年元旦
愛媛病院職員一同

愛媛県森の交流センター（東温市田窪）の紅梅

も



じ

Contents

躍進の年 飛翔の年	2・3
院長 岩田 猛	副院長 阿部聖裕
事務部長 稲沢義則	看護部長 渡川明子
こんにちは 愛媛病院です	4
訪問診療がはじまる	
足病変の予防に	4
フットケア外来	
絶好調	4
ソフトボールクラブ	
医療の輪	5
にのみや消化器科内科・小児科	

四季燦餐	5
七草粥の巻	
医療安全管理室だより 25	6
ダメ! 患者間違い事例分析・報告会	
人形劇がやって来た	6
アラジンと魔法のランプ	
祭りだ! わっしょい!	6
当院へ神輿渡行	
看護学校の頁	7
第10期生決意式	
ちょっと言い放し	7
外来診療担当医表	8

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。



院長 岩田 猛

皆さんはどんな新年をお迎えでしょうか。2011年は東日本大震災、福島原発事故などが起こり大変な一年でした。そんな中で人々の絆の大切さが改めて示された年でもありました。新しい2012年を迎え、被災地では大震災からの復興工事の槌音が聞こえてきます。愛媛病院にとっても今年は新病院へと躍進するための、最初の槌音が響く記念すべき年になります。

まずは旧10病棟を仮のリハビリ室に改修後に、現リハビリ棟を解体します。その場所に新病棟は建つことになります。23病棟と看護学校の体育館の間の位置です。早くその建築の槌音を聞きたいものです。完成は平成25年春頃です。新病棟は5階建てですので、敷地の外からも新病棟の姿が目に入るようになり、地域住民の皆さんにも改めて愛媛病院の存在を示すことが出来ます。さらに新病棟に続いて給食施設、スタッフの更衣・休憩施設の入ったサービス棟の建築を行うつもりです。そして最も

工事の槌音

大切なことは外来や検査部門、さらには事務部門等の入る外来管理棟を新病棟の北隣りに建築して新病院の全体像を完成させることです。外来管理棟の建築は実際には未定であり、早期実現のためには病院経営を今以上に改善する必要がありますが、新病棟が完成すれば可能であると考えています。

新病棟になると患者さんのアメニティも改善しますし、スタッフの意欲の向上にもつながります。地域の先生方からの紹介の増加につながります。また愛媛大学附属病院や四国がんセンターから転院してきた患者さんに設備面で愛媛病院もきれいといわれるようになります。そして大切なことは、スタッフ全員が病院の改善・向上に向けて意識をもつことです。新病棟というハード面が整備出来ても、提供する医療の質の低下があっては台無しです。医療の質の向上、医療安全の確保に今まで以上に病院として努力します。また本院の自慢できる特徴として患者さんにやさしいことがあると思っています。長い療養所時代から受け継がれた良き伝統です。医療は進歩して、専門高度化していますが、どのような病気でも全ての患者さんに対して、本院のスタッフ全員は優しさの気持ちを持って接しています。これからも愛媛病院が患者さん、そして地域から信頼される親しみやすい病院であるように願っています。

新しい病院完成に向けて飛翔、躍進の一年になることを願って、新年の挨拶とさせていただきます。

躍進の年

WE ARE ADVANCING

新しい年を迎えて

平成24年の新春を迎え、皆様には心からお慶び申し上げます。

昨年は、日本にとって大変な年でした。それは、現在でも続いています。その中で、医療人としての責任の重さや価値などを確認した年でもあったように思います。

さて愛媛病院は、地域の医療を担っている医療機関であり、昨年にはその足跡や未来への思いを70周年記念誌に刻みました。当院は結核医療や重症心身障害者医療などの政策医療が中心であるとの認識がありますが、現在は内科、神経内科、外科、整形外科、呼吸器科、消化器科、循環器科など多くの患者さんにも医療を提供する病院になりました。さらにこの数年の間に、全国の国立病院機構における病院群の中で、経営・医療面で高い評価を得るようになりました。これは、より地域に密着し、良質で安全な、患者さんに優しい医療を提供すべく院内の充実を図り、また医療連携を大切にしてきた過去数年の取り組みが実ってきたものと思っています。

さらに今年は次のような目標を掲げています。

まず、数年前に始まった睡眠呼吸センターや心臓・呼吸リハビリテーションの充実・発展、昨年スタートした糖尿病フットケア外来、神経内科を中心とした訪問診療、看護専門外来などを軌道に乗せることです。

次に、QC活動の推進です。昨年末に職員有志での委員会が立ち上がりました。QC活動とは、自分達の病院の医療、経営、サービスなどの質を向上させるためにア



副院長 阿部 聖裕

イディアを出し合い、実現していく活動のことです。病院は病棟新築に向けて動き出しますが、私たちは、小さなことでも真剣に考え、改善に向けて職員全体で取り組む気持ちを大切にしたいと思います。

また今年は、より愛媛病院を地域にアピールしていこうと考えています。毎年行っている東温市健康フォーラムや看護の日のイベントなどはもちろんですが、いろいろなところが主催する健康関係のイベントにも可能な限り参加させていただき、情報発信をしていきたいと思っています。

当院に通われている患者さんをはじめ地域の皆様、そして日頃お世話になっている医療関係の皆様には、当院に対してお気付きのことがあれば是非ご意見をお聞かせいただければ嬉しく思います。本年もよろしくお願いいたします。



事務部長 稲沢 義則

新年あけましておめでとうございます。

時間の経つのは早く私も愛媛病院に赴任して3度目の新年を迎えました。

思い起こせば大小の事件・事故がありました。特に昨年は悲劇的な東日本大震災、台風12号等による豪雨など大きな災害が国を襲い多大な被害を受けました。そのような悲しい出来事もありましたが、FIFA女子ワールドカップサッカーで「なでしこジャパン」の優勝で悲しみに打ちひしがれた日本を勇気づける大変な喜びもありました。

そのような昨年において当院では本部介入施設から脱却後2年で病院評価がB→A→AA、そして病棟の建て替え整備を行えるまでに変貌したことです。しかし、まだ道中半ばの状態であります。

新病棟建て替え整備については、予定候補地の変更・設計変更・不落による再度入札（2回目は1月中旬予定）

新年を迎えて

など当初計画より半年近く遅れている状況です。この要因も四国から遠く離れた東日本大震災の影響によるものが大きいと考えられます。

いずれにせよ今年は当院の新しい夜明けの幕開けの年と考えています。新病棟の竣工後にはサービス棟整備計画を申請しており、その後に外来管理治療棟の更新築を計画しています。

このように将来の計画を描けるようになった理由は職員個々が夢を目標に変え、実現を目指して意識改革をすることによって、病院経営が安定してきたことにあると思います。

若い頃の職場（民間）にアルベルト・アインシュタインの名言？「知恵のある者は知恵を出せ、知恵の無い者は汗を出せ、汗の出ない者は出て行け」の文言が額に入っていたことが今でも脳裏に残っています。松下幸之助氏の自伝の中でも「本当は、まず汗を出せ、汗の中から知恵を出せ、それが出来ない者は去れ」と言っています。これからの病院経営は非情に厳しくなる一方で予測が立たないと言っても過言ではありません。職員一人ひとりが知恵と汗を出し一丸となり更なる発展と地域に信頼される病院を目指し乗り越えなければならないと考えています。私もこの一年を反省はしても後悔しない一年にしたいと思っています。

最後になりましたが、皆様の健康とご多幸をお祈りします。

TOWARD THE FUTURE

飛翔の年

新年を迎えて、キーワードは連携

新年、あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成23年は東日本大震災、原発事故という衝撃的で痛ましい出来事がありました。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、愛媛病院では新病棟建設がいよいよ具体化し、病院内に目に見える変化が起きてきます。新病棟建設は職員にとって悲願であり刺激的な出来事です。最上階（5階）からは白く装う石鎚山が障害物なしに見える、はずです。まずはそこに向かい、今年できること、今年やらねばならないことを仕分けし、実行していくことが重要だと考えています。

国立病院機構は「チーム医療推進に必要な複数の専門職間の協働とそのために役割分担された各職種の業務を実施することにより、質の高い医療を効率的に提供する」ことを中期計画の目標に掲げています。当院ではすでに発足している感染予防対策チーム、褥瘡対策チーム、栄養サポートチームに加え、昨年は慢性呼吸器疾患や糖尿病などの疾患をもつ患者様の症状改善、悪化予防等を目的に呼吸ケアチーム（準備クラブ）、糖尿病チームを立ち上げ、また訪問診療も開始しました。専門性を発揮したより良い医療の提供にむけ協働しています。

看護部でも、在宅酸素やNPPV（非侵襲的陽圧換気療法）の方を対象とした「呼吸器看護外来」を、また糖尿病チー



看護部長 渡川 明子

ムの活動の一環として「フットケア外来」を立ち上げました。看護外来は、医師の指示のもとで看護師が主体となり、看護師の視点で患者様の問題や疑問を解決すべく取り組んでいます。平成16年には「アロマセラピー外来」を開設しており、それに続く看護外来が開設できたことは、大変有意義だと思います。看護部個々人の持つ知識や技術を生かし、地域住民の方々の健康増進に寄与できればと思います。

生命を慈しみ病んだ人を助けたいとの純粋な思いが、日々の看護師の原動力となっています。私たち看護部は「地域に貢献出来る、専門性の高い、人間性豊かな看護を実践する」という理念を先輩より引き継ぎ、日々患者様と向き合いあるいは患者様に寄り添い、看護を届けています。地域の方々から愛され親しまれ、信頼される病院であり続けるために、すべての職員と連携し、新病棟移転に向かい今年も歩みを進めたいと思います。

こんにちは 愛媛病院です

訪問診療はじまる

11月1日より神経内科では神経難病の患者さんに訪問診療を開始しました。まず毎週火曜日午前に訪問診療を行うことにして現在3名の患者さんに対して訪問診療を施行しています。

私の場合、訪問診療は以前の勤務先（北海道小樽市）などで経験がありますが、訪問診療の良い点としては患者さん・ご家族が日常生活を送っているところで診療ができることがあります。例えば家の構造（例えばトイレや風呂場の段差など）を実際に見ることでその患者さんにとって適切な移動の方法や場合によっては改善点などをみつけ、より良い在宅療養につなげることができます。

しかし一方では病院であればすぐに検査（例えばCTなど）が施行できるのに家ではできないなど、医師・看護師の専門的な知識・技量だけでなく一般的な知識・技量が問われる場もあります。サッカーでいうと常に「アウェイ」すなわち本拠地以外での戦いが強いられる場ともいえます。

また状態が急変した場合の対応についても、患者さん・ご家族だけではなく訪問看護ステーション・ケアマネジャー・ヘルパー・保健師など在宅を支えるスタッフの方々との連携構築も大切です。

なおしばらくの間は「施行期間」として訪問診療の対象を、

- ①東温市内・松山市内東側・その周辺にお住まいの神経難病の患者さん
- ②自家用車をご家族が持っていないなど、ご家族の移動の手段がない患者さんに限定させていただいています。

まだ正直言って「外来の延長」のような訪問診療であり、本格的な訪問診療を行う体制にはなっておらず、あくまで「試行期間」といった状況です。そのため新規に訪問診療を希望される患者さんのご希望にはなかなか添えないのが現在の状況ですが、理想の訪問診療実現のために奮闘中です。今しばらくお待ちください。

神経内科医長 橋本 司



足病変の予防に フットケア外来

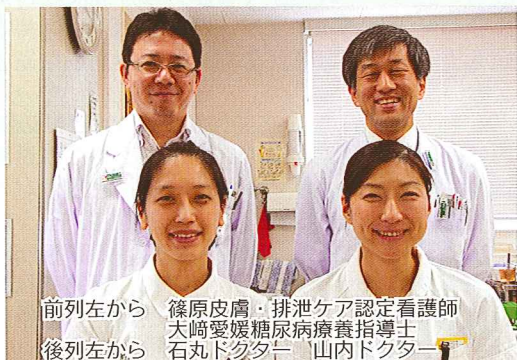
愛媛病院では、平成23年11月より糖尿病患者さんの足病変の予防と早期発見、また療養生活上の問題を支援することを目的に、糖尿病専門医の指示に従い、皮膚排泄ケア認定看護師と糖尿病療養指導士が毎週木曜日の午

前中に予約制でフットケア外来を行っています。

当院外来に通院されている糖尿病患者さんで、①足潰瘍、足趾・下肢切断既往のある方 ②閉塞性動脈硬化症のある方 ③糖尿病性神経障害のある方が対象になります。

糖尿病で血糖値が高い状態が続くと神経障害、血流障害や免疫力の低下が起こり、小さな傷や胼胝（タコ）などから足潰瘍や壊疽になる可能性が高くなります。そのため日ごろから足の観察や手入れを行い、異常の早期発見や対処が大切となります。そこで私たちフットケア外来スタッフは、患者さんやご家族の皆さんと一緒に足の観察、足浴や爪切りなどのケアを行いながら、患者さん自身が自分の足の状態に関心を持ち、病状を理解して正しい方法で継続したお手入れができるように支援していきたいと考えています。

また、患者さんの生活環境や療養上の問題についても必要なアドバイスや情報提供などを行います。フットケア外来スタッフが明るい笑顔で患者さんのお役に立てることを楽しみにお待ちしております。ご希望の方は担当の医師または看護師にお気軽にご相談ください。



前列左から 篠原皮膚・排泄ケア認定看護師
大崎愛媛糖尿病療養指導士
後列左から 石丸ドクター 山内ドクター

絶好調 ソフトボール クラブ

2011年より監督として指揮を執っている放射線科 阿部です。ソフトボールを通じて職員の方々と公私共に仲良くなせてもらっています。

現在、東温市リーグ第5部で活動しています。チームに作戦はなく、皆さん好きなようにバットを振り回しています。しかし、今なにをすべきか理解し、そこで実行できるところに今年の成長を感じます。

ただ怪我をしてしまったりは職場に迷惑をかけてしまうので、十分に注意しながら楽しくプレーできればと思っています。今後もソフトボールを通じて職員同士また地域の方々と交流も深めてゆきたいと思っています。

追伸：現在、ピッチャー、マネージャー募集中です。（女性マネ優遇）

2011年 後期 チーム成績

打率	試合数	打数	安打	本塁打	打点	盗塁
.349	9	218	76	2	50	9

現在7部制リーグの5部でプレーしています。

今年は6勝3敗で7チーム中の3位でしたが、得失点差で上位リーグには上げられませんでした。

2012年 前期 チームの目標：走らんかい！



医療の輪

繋がる地域医療連携



にのみや消化器科内科・小児科

当院は、東温市から国道11号線を松山市に向かって進んで行き、速度自動取り締まり機のある直線を過ぎて、左手に24時間セルフのガソリンスタンド、右手にフクヤスポーツのある交差点を左に入って直ぐのところにある、内科、小児科クリニックです。晴れた日は石鎚山から皿ヶ嶺の眺望が素晴らしい田園風景の中に開院して5年目になります。

院長である私が内科・消化器内科を、妻が小児科を担当し、夫婦で仲良く（笑）診療しています。内科・小児科のクリニックということで、内科医師・小児科医師それぞれの専門性を生かしつつ、お年寄りから赤ちゃんまで対応できる「かかりつけ医」として地域の皆様のお役に立ちたいと願っています。

愛媛病院には、各専門の先生への精査の依頼、急な入院、画像診断などいつも大変お世話になっております。病診連携の、診療所の側で微力ながらお役にたてたらと思います。よろしくお願い申し上げます。

施設名 にのみや消化器科内科・小児科
住 所 松山市平井町甲3236-1
電 話 975-2238 FAX 975-2338
医 師 内科・消化器内科 二宮 常之
小児科 二宮 晶

診療科目 内科、消化器内科、小児科
診療時間 月・火・木・金
午前9時～12時30分 午後2時30分～午後6時
水 午前9時～12時30分
土 午前9時～12時30分
午後2時30分～午後4時まで
日曜・祝日・水曜午後 休診

ホームページ <http://www.ninomiyaclinic.jp/>



し き さん さん 四季燦餐



新年あけましておめでとうございます。新しい年をお迎え、気持ちも新たにされてる方も多いと思います。今回は七草粥についてお話ししたいと思います。

七草粥とは「五節句」の1つである人日（じんじつ）の節句1月7日朝に食べられている日本の行事食で、春の七草や餅などを具材とする塩味の粥を、一年の無病息災を願って食べられます。祝膳や祝酒で弱った胃を休めるために食べるとも言われます。ところで春の七草を言うことができますか？せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ。七草の行事は遙か昔には「子（ね）の日の遊び」とも呼ばれ、正月最初の子の日に野原に出て若菜を摘む風習が枕草子の時代からありました。春の七草は水田雑草ないし、畑でとれるものばかりなので、きっと水田周辺で七草は摘まれたのでしょう。これらの七草をお粥にして1月7日に食べる今の七

草粥の習慣は、江戸時代に広まりました。

なぜ七草なのでしょう。七草は早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うと言われました。そこで無病息災を祈って七草粥を食べたのです。古くはまな板にのせて囃し歌（はやしうた）♪～七草なずな 唐土の鳥（かいぶつ）が、日本の土地に、渡らぬ先に、合わせて、バタクサバタクサ（地域によってストントン）などどうたいながら草をトントン叩いて作り、その刻む回数は49回と決められていたとか。こんなおまじないのような食べ方も素敵ですが、実はこの七草粥、とても理に適った習慣です。

七草はいわば日本のハーブ。そのハーブを胃腸に負担がかからないお粥で食べるのですから、正月疲れが出始めた胃腸の回復には最適な食べ物です。また、あっさりとしたお粥は、少し濃い味のおせちが続いたあとで、とても新鮮な味わいですね。

【七草の効用】

せり…利尿作用、健胃効果、食欲増進、肝臓回復効果
なずな…利尿作用、健胃効果、食欲増進、解熱、肝臓回復効果

ごぎょう…咳止め、気管支炎予防、扁桃腺予防

はこべら…利尿作用、比較的たんぱく質が多く含まれる

ほとけのざ…健胃効果、食欲増進、解熱

すずな…健胃効果、食欲増進、心の安定効果、そばかす予防

すずしろ…健胃効果、食欲増進、ひび・あかぎれ予防

医療安全管理室 だより

㊤こんなことをしています

ダメ！患者間違い 事例分析・報告会

今年度の医療安全部会は、各部署単位そして医療安全部会全体でも事例分析を行い、同じ事例が発生しないように対策立案・実施ができる事を目標にして取り組んでいます。今回は栄養管理室の事例分析と、医療安全部会の事例分析について報告します。

栄養管理室では、4月から一部の業務が業務委託になり、同じようなヒヤリハット体験報告が続きました。そこで7月にP-mSHELL（医療用事例分析手法のひとつ）で事例の検討をしました。参加メンバーは栄養管理室長、調理師長、副調理師長、主任調理師、委託責任者調理師等を含めて8名で実施しました。

事例は「主菜の付け合わせのブロッコリーがついていなかった」ことを選択し、指示書の食事を間違いなく提供するためにどうしたらいいのか、それぞれの業務内容を振り返りながら真剣な事例検討ができました。

内容の一部を紹介すると、環境の背後要因は、①2人の作業の時、主菜を置く人と蓋を置く人に分かれていた。それに対して対策は、①2人作業時の分担を食事の種類ごとに分け、盛りつけが終わって蓋をすることになりました。ソフトウエアの背後要因は①作業を行う調理指示書は、主菜と付け合わせが別に出ていましたが、それに対して対策は①主菜と付け合わせを組み合わせた調理指示書にすることになりました。管理面、ハードウエア、本人、周囲の人に対してそれぞれ対策が立案できました。検討された対策を実施することで、現在は付け合わせ忘れに関するヒヤリハット体験報告はほとんどありません。

医療安全部会では、一番気になる「名前間違い」の事例について5グループに分かれて検討しました。背後要因についてそれぞれの立場からの意見が出され、またその対策も検討し発表と意見交換ができました。

どの事例も一番の要因は、思い込み・確認不足・指差し呼称の不徹底でした。医療従事者として、自分の責任で名前を確認することはマニュアルに記載していますが、まだまだ業務の中で習慣になっていない現状を部会メンバーが再確認できました。医療安全部会では、11月から12月を「名前確認の強化月間」として具体的に取組んでいくことにしました。

今後も提出されたヒヤリハット体験報告書を大切にしておき、各部署と一緒に検討を重ねていきたいと考えています。

同姓同名の確認は…

この事例は…



医療安全部会で事例分析中

人形劇がやって来た

アラジンと魔法のランプ

「待ちました！」と患者さん達の心の声が聴こえてきます。11月9日(木)、おはなしキャラバン「つばさ」による人形劇が第2療育訓練棟で行われました。患者さん達や保護者の方々の拍手が響き響き中、「アラジンと魔法のランプ」が始まりました。

みなさんもご存知のように「アブラカタブラ～」とアラジンがランプを触りながら呪文を唱えると、中から魔神が出てきて次々と願いを叶えていくというお話ですが、今回の人形劇では患者さん達が楽しめるように物語に参加する場面が用意されていました。

例えば、アラジンが金棒を取りに行くために多くの毒蛇と出会う場面では、アラジンがこの呪文を唱えると、魔神と化した患者さん達が手にハンマーを持って、その毒蛇の頭を叩いてこらしめるというものです。

患者さんや保護者のみなさんからは「久しぶりに人形劇を見ました。子どもの頃に本で見たり、聞いたりしたことを思い出しながら見ました。久しぶりに子どもの頃に戻ったような懐かしい感覚でした。」「毒蛇の頭を何度も叩いて叩いて、汗が出るほどこらしめてやりました。楽しく身体を動かしたので、スカッとさわやかな気分になりました。」「かわいいお人形さん達をたくさん見ることができました。」など、たくさんの感想を聞くことができました。

今回の訪問が二度目の来院で「数年ぶりの再会ができた」と喜んでいただいていた劇団つばさのみなさん、少し早いクリスマスプレゼントをありがとうございました。

療育指導室 児童指導員
石田 和寛



祭りだ！わっしょい！ 当院へ神輿渡行

10月9日(日)、秋晴れのもと東温市秋祭りが行われ、横河原区水天宮からも四基の神輿渡行が行われました。

愛媛病院への渡行は午後4時頃、大勢の患者さんや職員が正面玄関で出迎える中「ヨイヨイ ヨイヨイ」の掛け声とともに大人神輿を先頭に中学生神輿、小学生神輿、女の子の花神輿が御入来。宮司さんの祝詞（のりと）奏上のもと、患者さんや職員一人ひとりに御幣で丁寧なお祓いをして頂きました。

その後、愛媛病院を代表して当日の日直だった大門ドクターが神輿に乗って三度の差し上げを受けました。「どうじゃ どうじゃ」の勇ましい掛け声とともに神輿に乗った大門ドクターが宙に舞うたびに患者さんや職員から歓声と拍手が沸き起こっていました。



差し上げを受ける大門ドクター
撮影：八木横河原区長

看護学校の頁 ～学び舎から～

第10期生 決意式

12月5日に10期生39名の決意式が行われました。看護師を夢見て入学してきた10期生も、8か月が経ち、看護に対する思いを育み日々成長してきました。決意式を行うにあたり、運営や構成について10期生で決めなければなりませんでした。係を中心にクラス全員で話し合い回結し、今日という日を迎えることができたと思います。10期生の看護師になるという思いのつまった決意式になりました。

厳かな雰囲気の中、参列者の前で一人ずつ「近代看護の母」と言われるナイチンゲール像の灯火から、自分のキャンドルに灯火を受け継ぎ、キャンドルを片手にナイチンゲール誓詞を唱和しました。そして、「優しさ、強さ、誇り、知識、技術を身につけ、確かな技術をもとに、チーム医療の一員として、慈愛に満ちた、質の高い看護を提供できる看護師を目指します。」と、これからの10期生の決意の言葉を述べました。決意の言葉を述べている10期生の姿を見て、多くの仲間に支えられながらこの8か月を過ごしてきたことを改めて感じました。また、在校生から「これから困難なこともあります。同じ目標を持つ仲間と支え合い頑張してほしい」とエールが送られました。看護師への決意を新たにした今日を忘れず、看護師への道を一歩ずつ歩んでほしいと思います。

最後に、決意式に出席してくださった皆様方、ご家族に感謝いたします。

看護学校 船津 綾子



ナイチンゲールの灯を受け継ぎ、整列した10期生

ちよつと言い放し

愛媛病院ニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

ペットブームが盛んな昨今、訳あって3月に雑種犬「マロ」が我が家の一員となりました。額にお公家さんの眉のような模様があることから「マロ」と名付けられました。まだ、生まれて間もない子犬で、コロコロとして茶色毛がふさふさで足は白い靴を履いて、鼻の頭は真っ黒で、眼はくりくりとしてキラッと愛らしく輝いていました。人がいなくなると心細そうに鳴いていました。早々に庭の一角に犬小屋を仕つけ、小屋の下は石を敷き、日差しを遮るようにテントを張り、周りにもみじなど木を植えました。3、4か月すると犬小屋は成長に合わせて一、二回りも大きくなりました。また狂犬病の予防注射やフィラリア対策の投薬や8月には不妊手術へ入りました。を受けるなど大変です。食事は宇宙食のようなドッグフードです。

10月には秋祭り「ちよつさ」が来るとあたふたと慌て吠えて大騒ぎをしていました。また、結膜に傷ができ目やにのため病院通いもしました。犬カルテには「マロ」と立派な名前が付き、薬袋に眼薬を入れてもらい人間と同じように間違っしてしまいそうです。11月、じゃれたり、とび跳ねたり、自分の家の屋根も噛んで散々ですが、耳はピンと立ち、尾っぽはくるっと巻き、すらすらとした姿で、なかなかです。お手とお座りができることが自慢です。振り返ると、すいぶん大人になりました。

先日、「一緒にいたペットのラブラドルレトリバーにお爺さんと3歳のお孫さんが寄り添い雪の中一晩横転した車内で過ごし奇跡的に救出され、感動と勇気を与えた。」というニュースが流れました。ペットも月日とともに家族に溶け込んでいきます。お座りをして出迎えてくれますよ。かわいいワン。



外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科		月	火	水	木	金
内科	循環器	岩田(午前) 船田	橋田	橋田(予約のみ) 藤田	岩田	船田
	消化器	古田	山内(一)	久保	山内(一) 糖尿病専門	久保
	呼吸器	阿部	市木 渡邊	佐藤	阿部 植田	市木
	神経	橋本(午前)	山下(午前)		山下(午前)	戸井
専門外来 (完全予約制)		心臓リハビリ 橋田	心臓リハビリ 橋田	心臓リハ外来 橋田(午前)	心臓リハビリ 橋田(午前)	心臓リハビリ 橋田
			スキンケア外来 第1・3(午前)	心臓リハ外来 橋田(午後)	ペースメーカー外来 第2・4(午後)	糖尿病外来 古川(第2・4)
		SAS外来 渡邊 (14時~16時再診のみ)	アスベスト外来 (13時~16時)	ペインクリニック 山内(康)	アスベスト外来 (13時~16時)	じん肺外来 西村(第1・3)午前
				SAS外来 植田(午後)	フットケア外来 (午前)	
外科			鈴木	石丸 (呼吸器)	渡部(隔週・午前) 消化器科外科	湯汲
					山下(第1・15時~) 呼吸器科外科	
					澤田(第1・15時~) 呼吸器科外科	
					末久(第1・15時~) 呼吸器科外科	
整形外科 午前のみ診療		横手	曾我部	横手	宮本	宮本(第2・4)
		宮本		曾我部		曾我部(第1・第3・第5)

※外来受付は午前8時30分から午前11時までです。ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。 2012年1月1日現在
 ※容体急変の心臓疾患・急性呼吸不全の患者様は24時間受け入れます。
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)
 ※禁煙外来は、4月1日より休診いたします。

独立行政法人国立病院機構 愛媛病院

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

当院の位置と交通



高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
 - 高松西IC(130.9km) 1時間30分
 - 徳島IC(170.9km) 1時間50分
 - 高知IC(130.1km) 1時間30分
- (川内ICから当院まで車で5分)

交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分
 または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
 バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分
 自家用車 松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分
 無料駐車場完備

